SMART NIRS による解析画面
（イメージ）

さまざまな技術を取り入れて
毎日リハビリ訓練をしています

KINECT を用いた
関節可動域測定装置

Microsoft KINECT（キネクト）は、人の動きを認識し、データとして取り込むシステムです。
当院は地元五日市の IT 企業であるシステムフレンドと協力し、KINECT を使って患者さんの関節可動域（関節をどのくらい動かせるかということ）を測定する装置の共同開発を行いました。これは「MMV 鑑 -AKIRA-」として商品化され、当院でも使用しています。臨床で簡単に撮影・再生でき、画面を用いることで患者さんに分かりやすく説明できるツールとなっています。

MMV 鑑 -AKIRA- の画面
（第二種医療機器製造販売業許可製品）

SMART NIRS
（近赤外光イメージング装置）

平成 26 年 10 月より、近赤外光を用いて脳の活動を計測する装置「SMART NIRS（スマートニルス）」を導入しました。MRI 装置などに比べ機器が小型で、被験者が動いていても計測可能であるため、運動中の脳の機能をリアルタイムで解析できるのが大きな特徴です。今後、さまざまな場面でリハビリ効果の確認や治療方針の検討などに役立てることが期待されています。

神経学的音楽療法

神経学的音楽療法は、音楽の持つ力（生理的効果・心理的効果・認知的効果・身体的効果・社会的効果）を用いて、機能回復・活動の向上・維持を目的に行う治療法です。具体的には、音楽を用いた覚醒訓練、リズム歩行訓練、音楽的発話刺激訓練、音楽を用いた半側空間無視・注意訓練などがあります。

神経学的音楽療法

ロボットを応用した訓練

近年はロボット技術が進み、リハビリや福祉分野での応用が始まっています。当院では上肢訓練や歩行練習に取り入れています。

ReoGo® -J

脳や脊髄の疾患により腕や手が動かしにくい方のリハビリに使用します。画面に表示されるポイントをなぞるようにアームを動かすことで、さまざまな腕の動きを反復訓練できます。患者さんの状態に合わせてモードを設定します。

RE-Gait®

足関節の背屈（つま先を上げる動き）や底屈（地面を蹴り出す動き）をアシストすることで、ふくらはぎの筋肉を伸長させ、足の振出がスムーズになります。この機器を装着して歩行練習をすることで、歩行能力の改善を目指します。

Honda 歩行アシスト

腰部・大腿部に装着し、足の動きをアシストします。簡単に装着でき、場所を選ばずに使用できます。装着者の歩幅や歩行リズムを改善させることで、歩行能力を高める効果があるものと期待しています。

ReoGo®-J

RE-Gait®

Honda
歩行アシスト

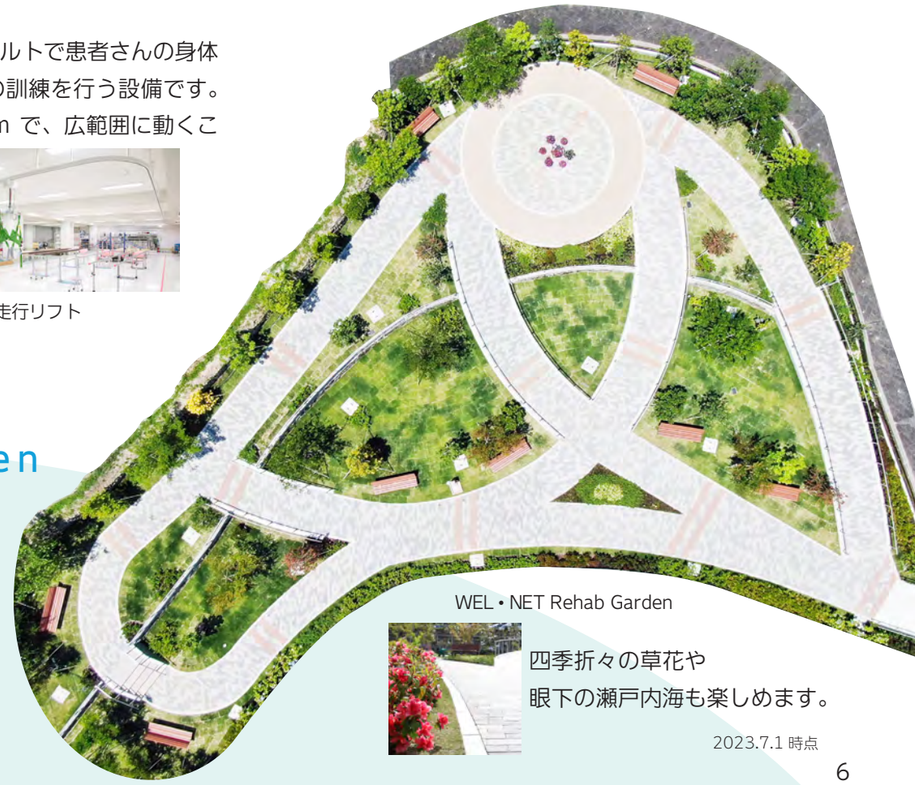
天井走行リフト

天井のリフトから下がったベルトで患者さんの身体を支えながら、歩行や動作の訓練を行う設備です。レール 1 周の長さは約 40m で、広範囲に動くことが可能です。訓練中の転倒防止に役立ち、難しい動作の訓練も安全に行うことができます。

天井走行リフト

WEL・NET Rehab Garden
（屋外歩行訓練施設）

バリアフリー法に基づいて設計された角度の違うスロープや階段を使用して、歩行訓練や介助指導が行える庭園です。


WEL・NET Rehab Garden

四季折々の草花や
眼下の瀬戸内海も楽しめます。

2023.7.1 時点